

(様式1)

令和3年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 037	提案機関名 公益財団法人 相模湾水産振興事業団
要望問題名 相模湾の藻場・漁場調査及び藻場図面の作成について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ○平成21年に腰越地先の天然ワカメ不漁の件で、地元漁協が原因の調査を県水産技術センター相模湾試験場に依頼し、同試験場がRVO（水中カメラロボット）による調査を実施し、海中の様子を詳しく観察することが出来、漁業者の助けになった。 ○また、近年、海底のシルト化や藻場の荒廃等が進み、漁業生産力の低下が懸念されている。 ○このようなことから、自分たちの漁場の状況を把握したいという漁業者からの要望が強く、今後も引き続き、同試験場のRVO等による調査の実施を要望します。 ○今後、藻場の保護のため、調査により藻場の特定を行い、相模湾の藻場図面の作成をお願いしたい。また、藻場は稚魚等の成育場として大きな役割をされており、藻場海面上での漁業規制（網入れ規制等）の導入を要望します。 ○近年養殖ワカメの生産が不漁と聞いているが、これらの原因と対応指導を要望します。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。（提案者は記載不要）

回答機関名	水産技術センター	担当部署	相模湾試験場、栽培推進部、企画指導部
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可 <input type="checkbox"/>		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 漁場環境保全調査、酒匂川濁流影響調査、磯焼け緊急再生支援事業		
対応の内容等	相模湾試験場のROV等による漁場調査は、貴事業団や県内漁業関係者等の要望により、引き続き実施します。また、藻場図面の作成は、藻場の保全のために必要であることから、相模湾西部海域においては漁場環境保全調査等において実施中です。 一方で、相模湾東部海域においては、衛星画像の解析や漁業者への聴き取り調査などにより、藻場の状況を把握して藻場マップを作成するための調査研究を実施中です。相模湾試験場とも連携しながら、相模湾全域の藻場マップを作成します。令和2年度中にはまずは衛星画像の解析を主にした基本的な藻場マップを作製する予定です。 養殖ワカメの生産不漁について漁業者に聞き取りをしたところ、水温の上昇が原因の一つとしてあげられており、高水温でも育つワカメの導入などについて助言指導いたします。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内 <input type="checkbox"/>		
備考			